

100年の歴史を未来へつなげる

完結

近江鉄道日野駅再生プロジェクト



平成28年11月から始動した「近江鉄道日野駅再生プロジェクト」が令和2年3月に無事終了しました。

3年間のプロジェクトを通して、駅舎の再生、上りホーム上屋の改修、鉄道資料展示室の整備等に取り組みました。

この取り組みには、ふるさと納税制度を活用し、3年間で8千5百万円を超えるご寄附をいただきました。多くの皆さまからご支援いただき、誠にありがとうございました。

新たな100年に向けて、今後とも日野駅を大切にお使いいただきますようお願いいたします。

近江鉄道日野駅 これまでの歩み

明治29年

近江鉄道株式会社が設立

明治33年

日野駅完成

大正3年

日野駅駅舎改築（大正2年 日野地域から約4,000円を近江鉄道へ寄附）

平成27年

老朽化に伴い、駅舎解体の危機

平成28年11月

日野駅再生プロジェクト開始

平成29年10月

日野駅駅舎再生竣工式挙行

平成31年2月

上りホーム上屋改修工事完了

令和2年3月

日野駅鉄道資料展示室完成
日野駅再生プロジェクト終了

この度、日野駅再生プロジェクトの3年目の取り組みとして、日野駅旧観光案内所を改修し、「日野駅鉄道資料展示室」が完成しました。

この展示室は、日野駅再生プロジェクトによって再生する以前に、実際に日野駅で使われていた鉄道関係用品のほか、近江鉄道に関する資料等を展示しています。

日野駅鉄道資料展示室が完成

さらに、駅舎の南側には、全国で日野駅以外に保存の例がない「タッグローダー」を当時の姿に修復し、展示しています。

また、これまでに取り組んだ駅舎再生工事においても、玄関口の明治洋風建築の流れをうけた玄関キャノピー柱の意匠（エントランス柱）、洋小屋組のトラス構造など、その時代の意匠、工法を留める貴重な造りを残すほか、玄関口をくぐった天井には、当時待合室北西側にあつた貴賓室の格天井を移設するなど、駅舎の歴史を感じ取れる一面を残しています。



▲完成された日野駅鉄道資料展示室

このように、日野駅をはじめとしたこれらすべてのものが、これまでの100年にわたる歴史を刻んでおり、かけがえのない「たち」を残すことができました。これらすべてを「鉄道ミュージアム」として位置づけ、これまでの100年の歩みを、皆さまとともにこれから100年先の未来につなげていきたいと思っております。引き続き皆さまのご支援をよろしく願います。

